第21号
2006/3/1

フクタニュース

発行
(株)フクタ
砕石部

最高気温10度を越える冬???

今年の冬は、心の準備ができないうちに突然来たという感じがあります。春の多くの人は、雪が解け、芽が出て、南国の鳥たちが帰ってきたのを見て、春の訪れを感じたりするものだと思っていました。ところが、今年は例年と違い、雪の量が少なく、暖かい日が続いたため、雪解けが早まり、川の水量が増えてきました。自然の摂理はなかなか難しいものです。

石材部　展示会開催

当社石材部では、春のお彼岸を控え、毎年恒例の墓石展示会を三月十五日より開催することとなりました。今年の新作（墓石に新作があるというのも違和感がある。）を展示するのことで、通りがかりの折にでも立ち寄ってみてください。プラスチックや、コンクリートにはない質感があり、ちょっとしたミュージアム気分に浸れるかもしれません。

冬季オリンピックにおもう

果てフィギュアスケートの世界記録保持者を見て、過去の伯仲した戦いを思い出すのは、実力のある選手が、ぜひ出場してほしいと思うのは、私だけでしょうか。

凡々たる記録の選手が、金メダルを獲得するのは、どうしても、人間の性でしょうか。

ぜひ、日本人の選手が、金メダルを獲得するのを見たいものです。

カーリング　ブームの兆し

トリノオリンピックで、カーリング日本女子チームが想定外？（失礼）の健闘を見せたことで、カーリングという競技が一躍脚光をあびる兆しを見せている。日本カーリング協会に電話が殺到し、通常業務に支障をきたしているとのこと。熱しやすいのはどうかと思うが、ことカーリングについては、県北地区には競技設備もあり、二戸チームは全国レベルの実力があるとのことで、未来のオリンピック選手誕生にいやがうえにも期待がかかる。誰でもすぐ出来そうな感じもあり、競技人口も観戦人口も増えるのではないかと思う。ちなみに３月は毎週金曜日の夕方六時半から県北青少年の家において練習しているとのこと。

訃報

十二月十日　元砕石部長　岡本　重俊　氏

協会員として、東北地方に長年、採石業を営まれ、その間、小石川採石業組合の設立に尽力され、自身の経験を活かされ、採石業界の発展に重大な功績を残された。

編集後記

３月３日はひな祭りですね・・・我が家にも廿の子がいるのですが、そもそもひな祭りとは何？と、ちょっと調べてみました。

時は平安時代、上巳の節句というのがあって薬草で体のけがれを祓って健康と厄除けを願がったものだそうです。この行事が、後に宮中の紙の着せかえ人形で遊ぶ「ひいな遊び」と融合し、自分の災厄を代わりに引き受けさせた紙人形を川に流す「流し雛」へと発展していき、室町時代になるとこの節句は3月3日に定着し、やがて紙の雛ではなく豪華なお雛さまを飾って宮中で盛大にお祝いするようになりました。さらに裕福な商家や名主の家庭へと広がり、今の雛祭りの原型となったんだそうです。ひな祭りは、単なるお祭りではなく廿の子の厄除けと健康祈願のお祝いとしてすこやかな成長を願う行事、いうなればお雛さまは、降りかかろうとする災厄を、代わりに引き受けてくれる災厄除けの守り神のようなものなんですね。省略せずにきちんとお祝いしてあげたいものだとおもいました。